

れいわ ねんど ころ
令和2年度 なつ号

としょかんだより 中学年向けブックリスト

あいおいしりつとしょかん

あそびに行こう！海の本！



『海へのふしぎな生きものたち』岩崎書店//48

よしざきかずみ・写真 とりないけいこ・文



ツルツル？ヌルヌル？チクチク？海へをあるいて見つけたへんな生きもの。イソギンチャク、ウミサボテン、クラゲ、ウミウシ、カニなど、わたしたちのみちかにいる、海の生きものを、はくりよくのある写真と、わかりやすい文しょうでしようかいします。

いちどは見てみたい、へんてこな生きものたち！



『ふたりだけのとっておきのいちにち』 文溪堂//P-ダ

ヘレン・ダンモア・作 レベッカ・コップ・絵

まい年夏になると、リンのすむ町にロビーがあそびにきます。夏のおわりにおわかれの日がきてしまいますが、はなれたくない二人は、あかいほのついたボートにもぐりこみ、かくれます。いつのまにかねむってしまったリンとロビーをのせて、ボートは海へと出てしまいます。

海への町をぶたいにした、ふしぎなぼうけんのお話です。



『町かどのジム』 童話館出版//93-フ

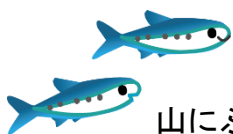
エリノア・ファージョン・作 エドワード・アーディゾーニ・絵



いつもポストのとなりのベンチにすわっているおじいさんのジムは、わかいころ、ふなのりだったという。海で大ダコに引っぱられた話、海でいでなまの女王にであった話、そうなんしてたどりついた島で王さまになった話、ペンギンのおくさんにされた話…。ジムのうそみたいな話にむちゅうになるデリー。

ジムといっしょにいと、行ったことも見たこともない海の世界で、ぼうけんしているような気持ちになれるのです。

どこ行く？なにをする？



『かわ』 鈴木のりたけ・著//幻冬舎//P-ス

山にふる、ひとつぶの雨からはじまった水のながれは、かわとなって海にたどりつき、そしてまた雲から雨になり、かわをながれていきます。日本のかわのゆたかさと、そこにすむ145しゅるいもの生き物たちを、水と魚の視点でしようかいします。



『妖怪一家の夏まつり』 富安陽子・作//理論社//91-ト



「妖怪一家九十九さん」はシリーズがたくさんあります。

化野原団地で、人間たちにまじって、こっそり生活をはじめた妖怪の九十九一家。お父さんはヌラリヒョン、お母さんはろくろくくび、子どもたちは、サトリにアマノジャクに一つ目小僧。家族の一番大事なルールは、「ごきんじょさんを食べないこと」。

夏のある日、やまんばのおばあちゃんが町の「夏まつり実行委員会」の委員長にえらばれてしまったので、さあたいへん。ぼんおどりのやぐらをたてるために、けっして動かしはいけないと言われていた封印の石をどかしてしまったことから、大そうどうがまきおこります。



『ぼくはいかない』 柴田愛子・文 伊藤秀男・絵//ポプラ社//P-シ

こんど「あそび島」のみんなでキャンプに行くことになった。虫とりも、川あそびも、ごえもんぶろもあるらしい。みんなはワクワク、たのしそう。でもしんちゃんはこまっていた。だってキャンプには、子どもたちだけで行くというから。

かぞくとはなれておとまりをしたことがないしんちゃんは、ふあんでしようがない。ほんとうにみんな、へいきなのかな？しんちゃん、さあどうする？



『巨大空港』 鎌田歩・作//福音館書店//P-カ



せかいの空とつながる空港に、朝いちばんの飛行機がやってきました。巨大空港の一日がはじまります。飛行機からおりてきたおきゃくさんや、これから飛行機にのるために集まる人でどどんとぎやかになってゆきます。

また空港では、たくさんの人がはたらいています。そうじをする人、けいびの人、機内でたべるごはんを作る人。そして、つぎのフライトのためのあんぜんかくにんをする人…。

巨大空港のにぎやかな様子をえがいた、おしごと絵本です。

しゅくだいにはこんな本！

ドキドキわくわく、かがくじっけん

- ・『夏休み！発酵菌ですぐできる おいしい自由研究』小倉ヒラク・文絵//あかね書房//40
ヨーグルト、なっとう、みそなどを、おうちでつくれる、おいしい自由研究です。
- ・『文部科学大臣賞を受賞した 小学1年生のすごい自由研究
「セミをさがしたなつやすみ」』吉川蒼都・著//KADOKAWA//40
セミがだいすきなよしかわくんが1年生のときにまとめた、夏休みのけんきゅう。
すきなことをしらべると、たのしくしゅくだいができるね！
- ・『花・木の実・藍・野菜・葉っぱの かんたん染めもの』春田香歩・著//借成社//75
ナスやタマネギのかわ、コーヒー、こうちゃ、ドングリや土で、そめものができるんだっ
て！みどりのはっぱがぬのをきいろくそめたり、おなじしょくぶつでもちがう色水ができ
たり、しぜんならではの、ふしぎがあります。

つくってみよう！工作の本

- ・『超カンタン！トリック工作BOOK ビックリ立体が手作りできる！』
杉原厚吉・監修//主婦と生活社//75
目のさっかくをつかった「トリックアート」や、げんじつにはありえないはずの「不可能
図形」。さかみちをのぼるビー玉、コインがきえるちょきんばこ、てづくりのアニメーショ
ンなど、たのしい工作がたくさん！
- ・『コロコロロボット』野出正和・古川孝・著//いかだ社//75
ペットボトルやかみコップ、おかしのおきばこなどで作れる、うごくロボット。
作る人のアイデアしだいで、たのしみかたはむげんだい！ちょっとむずかしいことにも
ちょうせんしてみよう！

本さがしの
おてつだいをします！

どくしょかんそう文、工作、かがくじっけんなどの
しゅくだいにつかえる本は、ほかにもたくさんあります。
どくしょかんにさがしにきてください。
どんな本をえらんだらいいのかわからない！という人は、
そうだんしてくださいね。
がんばるあなたを、おうえんします！



かぞくではなそう、せんそうのこと。

『8月6日のこと』河出書房新社//P-ナ

中川ひろたか・文 長谷川義史・絵

せんそう中のことです。瀬戸内海せとないかいにすんでいたお母さんはきしゃにのり、へいたいとして広島ひろしまへ行ったお兄さんのもとに食べものをとどけていたそうです。その日、1945年8月6日。とつぜん、空と海がはげしく光りました。広島に原子力爆弾げんしりょくぼくだんが落とされたのです。お母さんはいつものように食べものをもって、広島へとむかいますが…。これは75年まえの夏ほんとう、本当にあったできごとです。

『きえないヒョウのつめあと』甲斐望・文 柿田ゆかり・絵//学研//91-カ

せんそう中のある夏のおわり。大阪の天王寺てんのうじどうぶつえんに「猛獣処分もうじゅうしょぶん」というめいれいがくだされた。どうぶつえんでかっているどうぶつをころさなければいけない、というみだ。爆弾ぼくだんでおりがこわれてしまったとき、にげだしたどうぶつたちが人間をおそったらたいへんだから、という理由りゆうだった。どうぶつをころすのは、かれらをかわいがり、せいっぱいせわをしてきた、しいくいんさん。いっとうのヒョウと一人のしいくいんのふかいきずなをえがいた、じつわをもとにした物語。

『なぜあらそうの?』ニコライ・ポポフ・絵//BL出版//P-ポ

うつくしい花がさいていた。さいしょはただそれだけだったのに…。花のとりにあから、かえるとねずみのあらそいは、どんどんおおきくなっていく。なぜ、あらそいがおこるのか。あらそいのあとに、なにがのこるのか。

よむ人にとしかける、字のない絵本。

おうちの方へ

??貸出カードはお持ちですか??

相生市にお住いの方なら、どなたでも貸出カードを作ることができます。利用登録の際、貸出カードを作る本人の身分証明書が必要ですので、お子様の場合は保険証などをご持参ください。ご不明の点がございましたら、相生市立図書館までお問い合わせください。